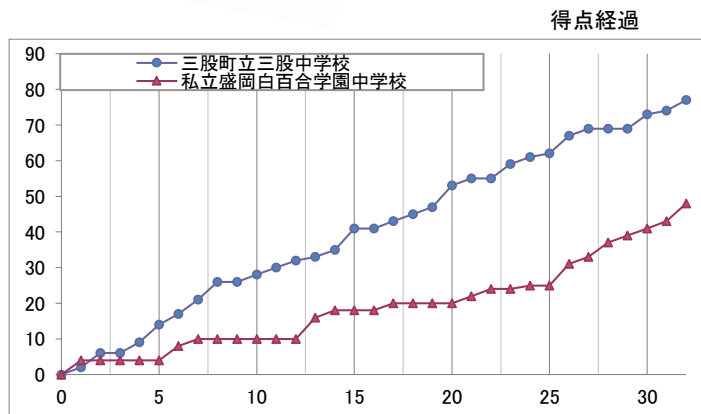




大会名	平成29年度 全国中学校体育大会 第47回 全国中学校バスケットボール大会																
会場	沖縄県立武道館																
日時	2017年8月23日(水)	14:50															
コート	BBコート 第5試合																
カテゴリー	女子予選リーグブロック																
主審	藤代 透	(東京)															
副審	木村 依美里	(京都)															
TEAM A	TEAM B																
三股 (宮崎県)	77 ○	48 ● (岩手県)															
	<table border="1"> <tr><td>26</td><td>1st</td><td>10</td></tr> <tr><td>15</td><td>2nd</td><td>8</td></tr> <tr><td>20</td><td>3rd</td><td>7</td></tr> <tr><td>16</td><td>4th</td><td>23</td></tr> <tr><td>—</td><td></td><td></td></tr> </table>	26	1st	10	15	2nd	8	20	3rd	7	16	4th	23	—			
26	1st	10															
15	2nd	8															
20	3rd	7															
16	4th	23															
—																	



BOXスコア

TEAM A		三股町立三股中学校						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	松原 志帆 (CAP)	×	21	0	9	3	2	
5	吉村 咲紀	/	10	1	3	1	0	
6	中村 夏希	×	7	0	3	1	2	
7	菅野 伊万里	×	8	0	3	2	1	
8	矢野 朱理	/	0	0	0	0	0	
9	上之原 里香	×	8	2	1	0	0	
10	鬼塚 瑞葵	DNF	0	0	0	0	0	
11	下之蘭 咲心	×	15	0	6	3	2	
12	山元 玲羅	/	3	0	1	1	1	
13	津曲 杏花	/	0	0	0	0	0	
14	迫田 姫愛	/	2	0	1	0	0	
15	廣瀬 麻衣	/	0	0	0	0	0	
16	山内 結稀	/	0	0	0	0	0	
17	宮本 なつみ	/	3	0	1	1	2	
18	大久保 愛梨	/	0	0	0	0	0	
コーチ	横山 祥子							
合計			77	3	28	12	10	

TEAM B		私立盛岡白百合学園中学校						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	松尾 彩加 (CAP)	×	0	0	0	0	1	
5	帷子 美祈	×	22	0	9	4	1	
6	木村 萌々	×	3	1	0	0	1	
7	牧野 楓菜	/	0	0	0	0	1	
8	長山 叶愛	×	11	0	4	3	3	
9	金野 美琴	/	0	0	0	0	2	
10	杉内 李緒	/	2	0	1	0	4	
11	加倉 滯奈	DNF	0	0	0	0	0	
12	山下 美桃	DNF	0	0	0	0	0	
13	畠山 舞	DNF	0	0	0	0	0	
14	佐藤 実花	×	10	0	4	2	0	
15	原田 吹希	DNF	0	0	0	0	0	
16	昆 奏恵	DNF	0	0	0	0	0	
17	福来 春菜	DNF	0	0	0	0	0	
18	青田 はな	DNF	0	0	0	0	0	
コーチ	小川 陽							
合計			48	1	18	9	13	

×…スターター /…出場 DNF…未出場 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦評

九州ブロック代表三股と東北ブロック代表白百合の対戦。予選リーグで互いに一敗しているため、決勝トーナメント進出を掛けた重要な一戦となる。1Q、出だしから、互いに激しいDefの攻防となる。3分39秒、11-4の三股リードで、白百合1回目のタイムアウト。白百合は#8がインサイドで得点するが、三股は激しいDefからの速攻と、#4のドライブ、#9の連続3Pでリードを広げ26-10で1Q終了。2Q、出だしから両校とも得点が動かず、5分51秒三股1回目のタイムアウト。タイムアウト後、三股#6の3P、#11の得点でリードを広げる。1分58秒、37-18となったところで、白百合2回目のタイムアウト。白百合はDefで粘るが、三股の勢いは止まらず、41-18で2Qを終了。3Q三股が激しいDFから流れを作り、#53Pや#4のジャンプシュート等で残り3分53-24とリードを広げる。三股の勢いは止まらず59-25の34点差をつけ3Q終了。4Q開始、三股のプレッシャーDFが勢いを増しさらに点差を広げる。白百合もオールコートDFで変化をつけるが、三股は落ち着いてゲームをコントロールし点差は縮まらず、77-48で三股が勝利した。終始、三股のDFが機能し、相手のミス誘い序盤からリードを広げていった。三股#4の司令塔としての役割を果たしゲームを支配していた。DF力とシュート力に優る三股が予選1勝1敗とし、決勝トーナメント進出を決めた。